

皆さんこんにちは。兵庫県知事の井戸敏三です。ずいぶん寒くなってきました。風邪をひかない様にお互い気をつけましょう。

さて、最近子供を巡る、自殺だとかいろんな事件が起きています。私は、あまりにも自分の命を蔑ろにしているのではないか。このことを心配しています。私たちの命は、私たちの命であって、私たちだけの命ではない。このことを本当の意味で理解しなければいけないのではないのでしょうか。

というのは、地球の歴史40億年といわれますが、生物の歴史も35、6億年。地球の化学変化の中から生まれた原始バクテリアから生命が始まったといわれています。その生命が、次々次々、地球が炎熱化したり凍結したりするなか、危機を乗り越えてバトンタッチされてきて、私たちに繋がっている。その様に考えてみると、私たちは生命のバトンランナー。生命をバトンタッチしていく役割を担っているのではないのでしょうか。その様な意味で私たちは、自分の命を大切にします。それは、自分の命だからこそということだけではなく、自分の命が次の世代に繋がっていく、また今まで受け継いできたことに感謝する。このことを考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

これを私は、身に付けるためには環境教育、環境学習が必要だと考えています。特に自然の中で幼児から自然の一員だということを体験することが必要だと考えています。

その様な意味で如何に自然と触れ合うか。如何に自然の中で生活するか。如何に自然を自分の生活の中に取り込んでいくか。これが大切なのではないのでしょうか。

発行元：いどとし.net 運営事務局

発行責任者：渡邊 勝幸

お問い合わせ：ido@idotoshi.net